

## 報告事項No. 6

令和4年度 公益財団法人川崎市生涯学習財団「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

(別紙) 報告事項 No. 6 資料

参考資料 1 「経営改善及び連携・活用に関する方針」  
(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

令和5年8月22日

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価

## (令和4(2022)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人川崎市生涯学習財団	<b>所管課</b>	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
-----------------	-----------------	------------	----------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針											
<b>法人の概要</b>	<p>1 法人の事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(かわさき市民アカデミー協働事業、青少年学校外活動事業、生涯学習プラザ施設提供事業、シニア活動支援事業、生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業など)</li> <li>・生涯学習関連施設管理運営事業(大山街道ふるさと館、子ども夢パークの指定管理)</li> <li>・生涯学習活動及び情報に関する運営管理受託事業(寺子屋先生養成講座の受託など)</li> <li>・収益事業(生涯学習に関する多彩な体験講座事業など)</li> </ul> <p>2 法人の設立目的</p> <p>川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化等に関する各種の事業を行うとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としています。</p> <p>3 法人のミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を推進します。</li> <li>・シニア活動支援事業やかわさき市民アカデミーへの支援など、市民の高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供します。</li> <li>・中間支援組織の特性を活かして学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携により事業を展開します。</li> </ul>										
<b>本市施策における法人の役割</b>	<p>本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的・主体的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">政策</th> <th style="width: 40%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">法人の取組と関連する市の計画</td> <td>市総合計画上関連する政策等</td> <td>政策2-3 生涯を通じて学び成長する 施策2-3-2 自ら学び、活動するための支援</td> </tr> <tr> <td>関連する市の分野別計画</td> <td>かわさき教育プラン【H27～R7】</td> </tr> </tbody> </table>				政策	施策	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策2-3 生涯を通じて学び成長する 施策2-3-2 自ら学び、活動するための支援	関連する市の分野別計画	かわさき教育プラン【H27～R7】
	政策	施策									
法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策2-3 生涯を通じて学び成長する 施策2-3-2 自ら学び、活動するための支援									
	関連する市の分野別計画	かわさき教育プラン【H27～R7】									
<b>現状と課題</b>	<p>1 現状</p> <p>市民の健康で生きがいのある、創造性と個性を生かせる活力ある地域生涯学習社会の形成と振興に寄与することを目的として設立された、川崎市生涯学習財団は、市民の生涯学習の支援を行うとともに、学習の場の提供や多様な主体との連携により地域人材の育成や環境づくりを進めています。これまでも新たな事業の展開や受講料・施設使用料の改定、組織体制や各事業等の見直しを行い、収益の改善並びに経費の削減に取り組んでまいりましたが、平成22(2010)年度から恒常的な赤字が続いています。</p> <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人の設置目的や役割に基づき、全市的な視点で各事業を継続的・効果的に実施するためには、社会情勢に応じて事業内容の見直しが必要となっています。多様化するニーズを踏まえ、魅力的な事業の実施や快適性・利便性向上のための環境整備、新しい生活様式に対応した取組等が求められています。</li> <li>・公益財団法人として社会状況の変化、施設利用ニーズに適切に対応していくためには、引き続き収益事業・施設提供事業による収益増加に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しを推進し、経営基盤の強化を図っていくことが必要となります。</li> </ul>										
<b>取組の方向性</b>	<p>1 経営改善項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的かつ多彩な講座の展開、施設の快適性・利便性の向上、施設利用促進に向けた広報強化等の推進により収益の増加を図り、安定的な自己財源の確保と経営基盤の強化を図ります。</li> <li>・各事業における恒常的な内部事務の精査や集約化、手法の変更等による事務経費の削減及び組織体制・事務分担の見直しを行い、効率的・効果的な執行体制にすることで、事業運営のさらなる効率化を推進し、コスト削減を図ります。</li> <li>・安定的な財政基盤の確保のため、収入の増加及び管理費の削減に向けた取組を着実に実行し、より一層の自主・自立した経営を目指します。</li> </ul> <p>2 連携・活用項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織の特性を活かし学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携を進めるため、本法人への適切な助言・指導を行いながら、市民の学習機会の充実を図ります。</li> <li>・市民が主体的に学ぶ機会を提供したり、生涯学習に関する相談や情報誌の発行、ICTの活用による情報提供等に取り組むなど、自らの知識や技術を地域づくりに活かすための活動を支援していきます。</li> <li>・市の「地域の寺子屋事業」との連携を図りながら、シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めます。</li> </ul>										

# 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

## 4カ年計画の目標

- ・本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行います。
- ・かわさき市民アカデミーへの支援を通して市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するシニア活動支援事業を推進します。
- ・市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的・主体的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。
- ・また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業等による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト縮減を図り、安定的な経営基盤を確保します。

### 1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	7,327	9,000	8,140	人	b	B	I
		事業参加者満足度	—	81	86	%	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	20,175 (25,377)	19,240 (27,461)	20,460 (25,576)	千円	2)	
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス数	215,584	184,000	263,434	件	a	A	II
		学習情報掲載件数	2,161	2,050	2,527	件	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	9,064 (11,745)	10,911 (12,522)	9,500 (12,473)	千円	1)	
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講した人数	198	150	184	人	a	A	I
		寺子屋先生養成講座受講者満足度	—	81	98	%	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	742 (742)	858 (858)	835 (835)	千円	1)	

### 2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	25,371	27,746	27,694	千円	b	B	I
		施設使用料収入の増加	22,735	22,437	26,234	千円	a		
②	収支改善	経常収支比率の推移	100.2	98.7	99.6	%	a	A	I
		正味財産の推移	295,312	283,704	293,864	千円	a		

### 3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人材育成研修の実施	研修の参加人数	88	92	123	人	a	A	I
②	事業・業務の点検	実施回数	46	49	48	回	b	C	II

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

・令和3(2021)年度取組評価結果を踏まえ、令和4(2022)年度については、「本市施策推進に向けた事業取組」における、生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業では、オンラインの推進、定員制限の緩和等ウィズコロナへの対応を着実に推進してきました。しかしながら、市民アカデミーなどのシニアの参加が多い事業などでは、受講生が感染を危惧して受講を控えるなどの傾向があり、また、オンライン講座において苦手意識を持つ参加者が未だおられることなどから事業参加者数が伸び悩み、結果として、全体の事業参加者数は目標値を達成できませんでした。また、生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業については、市内の各種イベントがコロナ前の水準に戻りつつあったことから、情報掲載件数は目標値を達成することができました。また、ホームページを適宜更新し、特集記事の充実に取り組んだところ、アクセス件数は目標値を上回りました。

・「経営健全化に向けた取組」については、保守・点検日の見直し、貸部屋の環境の整備等により施設利用が伸びたことで、自主財源の増加を図ることができました。光熱水料費の高騰を始めとした諸物価の高騰もありましたが、経常収支比率及び正味財産の推移は目標値を上回ることができました。

・「業務・組織に関する取組」については、適切に研修・会議を実施し、情報の共有化を図るとともに、スキル向上のための取組を継続して実施してきました。

・今後も、市の施策と連携し豊かな生涯学習社会の実現に向けて、公益財団法人として経営の改善に努め、中間支援組織としての役割を着実に果たします。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

・令和4(2022)年度についても、引き続きコロナ禍ではありながら、企画等の工夫により概ね目標値を達成することができました。

・「本市施策推進に向けた事業取組」について、事業参加者数は目標値を達成することはできませんでしたが、日々の受講者の声を捉えた事業立案や、ホームページの工夫を行ってきたことにより「事業参加者満足度」や、「ホームページアクセス数」が目標値を上回ったことは評価できます。

・「経営健全化に向けた取組」については、自主財源の確保とともに、管理費の縮減に努め、「施設使用料収入の増加」だけでなく、「収支改善」についても、目標値を上回ったことは評価できます。引き続き収入の増加と管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立した経営を目指す必要があります。

・「業務・組織に関する取組」については、人材育成研修を実施した上で、適切に事業・業務の点検を行い、次年度の事業計画へ反映させたことは評価できます。

・また、ホームページの特集を充実させたり、見やすいレイアウトに改善するなどの魅力向上に努めたことで、目標設定時より著しく実績値が増えた「ホームページアクセス数」については、目標値の設定を見直しました。それに伴い、今後の取組の方向性を「Ⅱ」としました。

・今後も、公益財団法人として全市的・広域的に生涯学習の支援を行うとともに、多様な団体と協力・連携しながら、本市の生涯学習の推進に寄与することを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業
<b>計画(Plan)</b>	
現状	高い専門性を備えた継続的で体系的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。</li> <li>・青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、定員までの充足を目指します。</li> <li>・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。</li> <li>・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。</li> </ul>
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保などの対外活動支援等を継続して実施し、参加者増に努めます。</li> <li>・青少年学校外活動事業については、事業内容の充実を図りながら、受入れ自治体の状況も考慮して「ふれあいサマーキャンプ」を実施します。</li> <li>・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティア養成講座の効果的な実施と活動機会の確保に努めます。市民アカデミー地域協働講座やシニア活動講演会では広報の実施手法や講座の内容等を工夫するとともに、収支を考慮しながら市民ニーズの把握・企画の工夫等により参加者増に努めます。引き続き、オンラインを併用した取組を推進していきます。また、令和3(2021)年度において、地域協働講座から発達障害講座の受講生からなる学習グループができ、中原区市民提案型事業に採択されるなどの成果があったことから、令和4(2022)年度についても市民活動等に活かすことができる講座を積極的に開講し、受講後にも様々な形で支援します。</li> <li>・ランチタイムロビーコンサートは検温・消毒、密を作らないことを徹底するとともに、出演者の演奏内容により開催方法や会場を考慮して、実施していきます。</li> </ul>

## 実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p><b>【指標1関連】</b></p> <p>①かわさき市民アカデミー協働事業          ・コロナ禍ではありましたが、感染予防対策を講じながら、ほぼ計画どおり実施し、広報や会場確保、オンライン講座実施に向けた支援等を行い、受講者は5,687人(令和3(2021)年度より213人増)でした。          ・なお、昨年度中止となったアカデミーフェスタは計画どおり開催し、495人が参加しました。市民アカデミーの開講式は62人(オンライン参加含む)、受講生のつどいは88人(オンライン参加含む)の参加がありました。</p> <p>②青少年学校外活動事業          ・青少年の地域間交流を行う「ふれあいサマーキャンプ」においては、先方自治体の意向により、募集の段階から中止となったコースが1コースありましたが、その他の3コースは予定通り実施し、定員を大きく上回る応募者の中から75人が参加しました。なお、受入れ事業につきまちは、先方自治体の意向により中止しました。          ・「キッズセミナー」については、令和3(2021)年度と同様に当初21講座で募集しましたが、応募数が定員に対して大幅に少ない講座があり、収支面で課題がある5講座を中止し、受講者は延べ463人で、令和3(2021)年度と比べ198人減でした。なお、人気のある「子ども陶芸教室」は定員上限の15人が受講しました。</p> <p>③シニア活動支援事業          ・学習した知識・経験を活かし地域貢献を目指す目的で、かわさき市民アカデミーと協働で大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携した講座「地域協働講座」等をオンラインでも実施し、受講者は325人(令和3(2021)年度より66人増)でした。          ・講座等の修了後、受講生のグループ化や地域での活動を促進し、令和3(2021)年度の地域協働講座から誕生した発達障害講座の受講生からなる学習グループがこれまでの活動成果を生かし、主体的にオンライン交流会を実施することができました。          ・「生涯学習ボランティアの養成・派遣」について、PCボランティア養成講座は11人(令和3(2021)年度より6人増)が受講しました。また、市から「ICT活用ボランティア育成講座」を受託し、ICTを活動に生かしていきたいと考えている市民団体やグループを手助けするボランティア人材の育成を行いました。基礎編と実践編をそれぞれ開催し、基礎編は15人、実践編は22人が受講しました。          ・ボランティアの派遣では、PCボランティア延べ44人(令和3(2021)年度より22人減)、環境学習ボランティア延べ80人(令和3(2021)年度より16人増)を派遣しました。陶芸ボランティアは延べ18人(令和3(2021)年度より1人増)を派遣しました。「シニア活動講演会」については中原市民館と共催し、「どうつくる?持続可能な社会」というテーマで77人(令和3(2021)年度より11人増)が受講しました。</p> <p>④その他支援事業          ・「ランチタイムロビーコンサート」は感染予防対策として、マスクの着用、手指消毒、検温への協力依頼、飛散防止用ビニールシートの設置、鑑賞人数の制限を行い、年間12回(令和3(2021)年度は9回、延べ360人)実施し、延べ495人が参加しました。今後も市民の皆様の期待に応えられるよう出演者の調整を行うなど、企画の内容を工夫します。          ・中原区との共催による「ミミケロ子育ておしゃべり広場」については、感染予防対策を講じながら、計画通り10回実施し、延べ168人(令和3(2021)年度は9回、延べ122人)参加しました。</p> <p><b>【指標2関連】</b>          シニア活動支援事業、市民アカデミー地域協働講座については、受講者アンケートを実施し、満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満の5段階のうち、満足とやや満足の合計の比率が平均で86%となりました。</p>
----------------	---

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業参加者数	目標値	7,327	9,000	9,500	10,000	10,500	人
	説明	事業参加者数で測ります。		8,140				
2	事業参加者満足度	目標値	-	81	82	83	84	%
	説明	事業参加者の満足度で測ります。 (シニア活動支援事業、市民アカデミー地域協働講座) ※R5年度の個別設定値:77.9(目標値の95%) ※R6年度の個別設定値:78.9(目標値の95%) ※R7年度の個別設定値:79.8(目標値の95%)		86				


指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・事業参加者数は、広報や講座のテーマ選定などの工夫や、地域協働講座のオンライン実施など、参加者の利便性の向上に努め、令和3(2021)年度より813人増加しましたが、アカデミーフェスタ、ランチタイムロビーコンサート、ミケロ子育ておしゃべり広場など、令和4(2022)年度も感染予防対策のため定員を制限して開催したこと等により、目標値を下回りました。

・感染予防対策のための定員制限以外で参加者数が伸び悩んだ事業について、地域協働講座「子育て応援講座」は、区役所等で同様の講座が無料で実施されていること、また、キッズセミナー「楽しい英会話遊び」は、小学校等で英語を学ぶ機会が増えたことなどが原因ではないかと考えており、次年度に向けて、各所で開催される取組に留意するとともに、キッズセミナーでは学校の授業では実施しないような廃材を利用した工作や理科の実験を実施するなど、学校の授業とのすまわげを引き続き検討します。

・満足度は、満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満の5段階に分け、そのうち満足とやや満足の合計の比率を講座ごとに調査したものを平均したところ86%となり、目標値を上回りました。日々の受講者の声を捉え、事業立案を行ってきたことから、アンケートの満足度が高かったものと考えています。アンケートについては今後も事業立案の際の参考とします。

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>区分選択の理由</b> B	事業参加者数は、アカデミーフェスタなど、感染予防対策のため定員を制限して開催したこともあり、目標値を下回ったものの、広報や講座のテーマ選定などの工夫を行ったことにより、令和3年(2021)年度の実績値を上回り、また、「事業参加者満足度」については、日々の受講者の声を捉え、事業立案を行ってきたことにより、目標値を達成したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	20,175 (25,377)	19,240 (27,461)	19,240 (27,461)	19,240 (27,461)	19,240 (27,461)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)		20,460 (25,576)				
<b>行政サービスコストに対する達成度</b>		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

・行政サービスコストについては、令和4(2022)年度の単年度事業ではありますが、デジタル化の推進に伴う、デジタルデバйд解消に向けた「ICT活用ボランティア育成講座」を臨時で受託したことにより、本市財政支出が増加し、目標値を超えました。

・直接事業費が減少した要因として、キッズセミナー募集のチラシを自前で印刷することなどで、当初の執行予定額よりも経費を節減することができたことや、ふれあいサマーキャンプにおいて、1コース中止したことによる負担金の減少や、キャンプ参加者に向けた助成金の支出がなかったこと等による結果であると考えています。

	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	<b>区分</b> (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>区分選択の理由</b> (2)	デジタルデバйд解消に向けた「ICT活用ボランティア育成講座」を臨時で受託したことにより、本市財政支出が増加したことで、行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標の目標値を概ね上回ったため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I ・ホームページによる情報発信を充実させ、より効果的な広報活動を行うことで、新たな参加者の開拓に向けた取組を進めます。 ・次年度に向けて、各所で開催される取組に留意するとともに、区役所の事業や学校の授業とのすま分けなどを引き続き検討します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)

事業名	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
現状	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
行動計画	・引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供し、けるようにホームページの充実を図ります。 ・また、情報提供元と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。
具体的な取組内容	生涯学習関連施設・民間教育機関を含めた団体等、多くの情報源から積極的に情報収集を行います。ホームページのトップページにて、新着・更新情報と講座等の応募締切日を分かりやすく表示することで、サイトの来訪者に向けた効率的・効果的な情報を提供します。また、令和3(2021)年度にNHKの大河ドラマに登場する川崎に縁のある人物にスポットを当てた記事の特集したことで、多くの反響があったことから、令和4(2022)年度も特集ページを充実させます。また、生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行により、市内で活躍している市民や団体の活動を広く紹介します。

## 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 ・市民が生涯学習のきっかけや場を探したり、自身の持つ知識や技術を地域に活かすことができるよう、継続してホームページに「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」などの生涯学習情報を掲載しました。 ・新着・更新情報と講座等の応募締切日を分かりやすく表示することで、サイトの来訪者に向けて効率的・効果的に情報を提供しました。 ・各地区・団体イベント情報については、積極的に収集・発信するとともに、令和4(2022)年度は、子どもに関するイベントの参加者募集が始まるタイミングに合わせ、ホームページに特集コーナーとして子ども関係のイベントの募集・紹介を集約して掲載するなど工夫を行いながら取り組みました。 ・また、ホームページに特集として「花見ができる場所」「ウォーキングのコースマップ」「源頼朝と稲毛三郎」など新たな切り口で特集を組みました。
	【指標2関連】 市民に広く情報提供を行うため、生涯学習に関わる関連施設・諸事業や人材・団体情報等の情報収集を行い、市民からの生涯学習に関する相談に対応しました。コロナ禍でありながらも、講座・イベント等が徐々に再開されつつあったことから、令和4(2022)年度は掲載数2,527件と令和3(2021)年度(2,161件)を上回る掲載件数となりました。また、収集した生涯学習情報を広く提供するため、承認をいただいた団体の情報については、神奈川県生涯学習情報システム「PLANET かながわ」へ610件(令和3(2021)年度(526件))情報提供しました。
	【その他】 生涯学習情報誌「ステージアップ」は、市内で活躍する市民や団体、グループ活動を記事として取り上げ紹介したり、財団や市民アカデミー主催の講座やイベント、生涯学習関連施設等を紹介するなど、生涯学習に関する情報の周知・啓発にも留意して年4回、各7,500部発行しました。令和4(2022)年度については、「ステージアップ」の表紙を川崎市文化財団との連携により、豊かな色彩のパラアートを掲載したところ、アンケートでも好評であり、新たな層の呼び込みにもつながったと考えています。また、紙面についても写真を多く掲載し、文章のみならず視覚的にも内容の充実にも努めました。また、メールマガジンを活用し、タイムリーな情報配信を行いました。

## 評価 (Check)


本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	ホームページアクセス数	目標値	215,584	184,000	220,000 185,000	222,500 186,000	225,000 187,000	件
	説明	情報の発信・提供の効果を具体的なセッション件数で測ります。		実績値	263,434			
2	学習情報掲載件数	目標値	2,161	2,050	2,100	2,150	2,200	件
	説明	学習情報の掲載件数で測ります。		実績値	2,527			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・ホームページアクセス数において、申し込みの多い子ども対象のイベントの参加者募集が始まるタイミングに合わせ、ホームページに特集コーナーとして他の子ども関係のイベントの募集・紹介を集約して掲載したところ、当該ページのアクセス数が非常に多く、同時に他のページのアクセス数の増加にもつながったと考えています。また、ホームページの特集として「花見ができる場所」「ウォーキングのコースマップ」「源頼朝と稲毛三郎」など新たな切り口で特集を組むなど、ホームページの魅力を向上する取組を推進しており、その成果があったものと考えます。

・学習情報掲載件数において、各団体がオンラインを併用するなど工夫をしてイベント等を再開していたことから、各団体のホームページを検索し、財団ホームページへ掲載できるよう依頼するなど積極的に情報収集に努めたことで実績値は目標値を上回りました。

 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A


行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	9,064 (11,745)	10,911 (12,522)	10,911 (12,522)	10,911 (12,522)	10,911 (12,522)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)		実績値	9,500 (12,473)			

行政サービスコスト に対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

・行政サービスコストについては、デジタル化を行うなど、これまで紙媒体で取り組んできた情報発信について見直しを行い、印刷製本費等の削減を図ることができたため、目標値を達成することができました。

・また、物価上昇に伴い、印刷製本費が高騰しましたが、印刷費用を軽減するために、要覧を手作りするとともに、通信運搬費(切手代)を抑えるため、通常郵送していたものを町内会や近隣施設には直接持参するなど、経費の削減に努めたことも目標達成の一因と考えます。

 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止



法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 本市施策推進に向けた事業取組③(令和4(2022)年度)

事業名	寺子屋先生養成事業
-----	-----------

### 計 画 (Plan)

現状	市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。
行動計画	寺子屋先生として活躍する人材の確保を図るため、「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて市と連携しながら、寺子屋先生養成講座を実施します。
具体的な取組内容	「地域の寺子屋事業」において、市と連携し寺子屋先生を養成するための講座を市内各所で9期開催し、受講生の増加に努め、寺子屋事業を支える人材の確保を図ります。また、講座については、アンケートでいただいた意見等を参考にして、講座内容を工夫することにより、受講生から高い満足度が得られるよう努めます。受講生確保にあたっては、他の財団主催講座等で周知を行うとともに、引き続き直接、町内会への広報も実施します。

### 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 寺子屋先生養成講座は、感染予防対策を講じながら計画どおり9期実施し、184人(令和3(2021)年度は198人)が受講しました。なお、令和3(2021)年度に引き続き広報については、ホームページ、チラシ配架に加え、町内会を通じた広報も実施しました。</p> <p>【指標2関連】 期ごとにアンケートを実施したところ、寺子屋先生として実際に事業に参加した方の体験談や受講生同士のグループワークなどが好評であったことから、その後の事業では、体験談やグループワーク等を充実させるよう、事業の充実に努めました。</p>
----------------	--

## 評価 (Check)


本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	寺子屋先生養成講座を受講した人数	目標値	198	150	165	180	195	人
	説明 寺子屋先生養成講座を受講した人数で測ります。	実績値						
2	寺子屋先生養成講座受講者満足度	目標値	-	81	82	83	84	%
	説明 事業参加者の満足度で測ります。 (シニア活動支援事業、市民アカデミー地域協働講座) ※R5年度の個別設定値:77.9(目標値の95%) ※R6年度の個別設定値:78.9(目標値の95%) ※R7年度の個別設定値:79.8(目標値の95%)	実績値		98				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・寺子屋先生養成講座については、感染予防対策を行いながら、令和3(2021)年度には一部中止した学校見学も、令和4(2022)年度は計画どおり実施しました。また、アンケートでいただいた意見等を参考に養成講座の内容をより充実したものとしたり、寺子屋先生として実際に事業に参加している方の体験談を充実させるなどの工夫を行った結果、目標値を達成するとともに、1期あたりの平均受講者数(20.4人)も、コロナの影響を受けなかった令和元(2019)年度(16.1人)を上回りました。なお、令和4(2022)年度実績値は、令和3(2021)年度実績値を下回っていますが、令和3(2021)年度は、令和2(2020)年度に講座の中止が相次いだこともあり、その反動により、一時的に受講者数が多かったのではないかと考えています。

・満足度については満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満の5段階のうち満足とやや満足の合計の比率が98%と高い満足度を得ることができました。毎回、受講者からの質問や感想をいただき、次の回で質問・疑問点を解消するとともに、感想を共有するなどの取組を行ったことが高い満足度につながったものと考えています。


	<b>達成状況</b>	<b>区分</b> A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多かった E. 現状を大幅に下回った	<b>区分選択の理由</b> A	感染予防対策を講じながら、学校見学を再開したほか、受講者からの質問を次回以降の講座に盛り込んで、養成講座の内容をよりニーズに沿ったものになるよう努めるとともに、寺子屋先生として実際に事業に参加している方の体験談を充実させるなどの工夫を行い、成果指標である「寺子屋先生養成講座を受講した人数」及び「事業参加者満足度」について、目標値を達成したため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	742 (742)	858 (858)	858 (858)	858 (858)	858 (858)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		835 (835)				

行政サービスコスト に対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

行政サービスコストについては、すべてが市からの委託料となっています。物価上昇もありましたが、チラシの必要枚数を精査し、印刷枚数を削減するなどの工夫をすることで委託料の範囲内で効果的な事業執行に努めました。

	<b>費用対効果</b> (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	<b>区分</b> (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<b>区分選択の理由</b> (1)	行政サービスコストはすべて市からの委託料となっており、限られた経費の中で効率的・効果的な事業執行に努め、本市施策推進に関する指標の目標値を上回る実績を上げているため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 引き続き市と連携するとともに、寺子屋先生の活動の様子をホームページでより詳しく紹介するなど、ホームページの内容の充実を図る工夫を行いながら寺子屋先生養成講座の受講者数増加に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	自主財源の増加
<b>計 画 (Plan)</b>	
現状	生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。また、学習した知識・経験を生かし地域貢献を目指す地域協働教室なども実施しています。
行動計画	公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業等による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業料等収入は、応募の少ない既存の教室の見直し、連続教室ではない単発教室である特別教室を新規に開設したり、陶芸教室において12回教室を6回に2分割した教室編成等にするなど、市民ニーズを配慮した参加しやすい教室の開催に努めます。また、充足率は新型コロナウイルス感染拡大の影響のない令和元(2019)年度の9割程度まで高めるための取組を継続します。</li> <li>・施設使用料収入は、施設利用促進のための広報(ホームページやステージアップ)を充実させて、生涯学習プラザの継続的な利用を促進します。また、会議室の老朽化した不ぞろいの椅子を入れ替えたり、正面玄関前のひび割れの入ったタイルを補修するなど施設設備を充実させ、親切・丁寧なサービスを引き続き提供することで、更なる利用促進につなげていきます。</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業料等収入は、応募の少ない既存の教室の見直し、連続教室ではない単発教室を新規に8講座開設したり、陶芸教室においては、第2期の12回教室を6回に2分割した教室編成等するなど、市民ニーズを配慮した参加しやすい教室を開催しました。</li> <li>・感染予防対策を講じながら、各教室ともほぼ計画どおり実施でき、「スポーツ教室」延べ13,594人(令和3(2021)年度より1,195人増)、「文化教室」延べ1,264人(令和3(2021)年度より200人増)、「陶芸教室」延べ3,806人(令和3(2021)年度より202人増)が参加しました。</li> <li>・募集定員に対する充足率平均は、令和4(2022)年度は89.92%となり令和3(2021)年度の80.79%から上昇しました。スポーツ教室において、充足率の低い教室を新たな教室と入れ替えるなどの取り組みを行った結果、充足率が高まったと考えています。</li> <li>・夜間の施設利用増の手法の一つとして「文化教室」では「夜間教室・俳句入門」を特別教室として開催しました。</li> </ul> <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用の促進を図るため、玄関前タイル補修、302多目的ルーム壁面補修、402カーテン全面改修、陶芸室空調機全面改修等の施設設備に力を入れ、また、201会議室の椅子72脚を交換整備しました。</li> </ul>
---------------	--

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	授業料等収入の増加	目標値	25,371	27,746	28,578	29,436	30,319	千円
	説明	授業料等収入の増加により測りません。		実績値	27,694			
2	施設使用料収入の増加	目標値	22,735	22,437	22,886	23,344	23,810	千円
	説明	施設使用料収入の増加により測りません。		実績値	26,234			
指標1 に対する達成度		b		a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載				
指標2 に対する達成度		a						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・授業料等収入については、スポーツ、文化、陶芸教室等について、開催する教室の精査等を行い、教室における充足率を高めることができたことから、目標値は達成できなかったものの、令和3(2021)年度の実績値を上回りました。  
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響も少なく、年間の利用件数は8,135件と(令和3(2021)年度7,631件)前年度実績を上回りました。施設使用料収入については、302多目的ルームの壁面を全面改修、402フィットネスルームの暗幕及びレースカーテンを全面改修したことにより、とても使いやすくなったとの声もあり、多くの集客を呼び込むことができ、目標値を達成することができました。また、玄関前タイル補修、陶芸室空調機全面改修や201会議室の椅子72脚を交換整備したことにより、利用しやすい施設として認知されてきたことも要因であると考えています。

本市 による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	B

## 改善 (Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 経営健全化に向けた取組②(令和4(2022)年度)

項目名	収支改善
<b>計 画 (Plan)</b>	
現状	経常収支の改善に向けこれまでも組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しを行い、収益の改善並びに経費の削減に取り組んでまいりましたが、平成22(2010)年度から恒常的な赤字が続いています。
行動計画	組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高め、コスト縮減を図るとともに、安定的な財政基盤の確保のため収入の増加に努めます。引き続き収支均衡に向けて、経常収支比率の改善や正味財産の逓減を抑制するための取組を行います。 ※指定管理料については、大山街道ふるさと館が令和5(2023)年度に指定管理期間が終了することから、今後継続の可否により数値が変動する可能性があります。
具体的な取組内容	感染予防対策に係る経費や昨今の光熱水料費等の高騰により、支出が増加しているものの、委託業務や事務経費等の恒常的な経費の見直しにより効率性を高め、コスト縮減を図ります。また、授業料等収入、施設使用料収入の増加に向けた取組を継続することで一層の収入の確保を図り、引き続き収支均衡に向けて取り組めます。また、正味財産については、経常収支の改善により正味財産の一層の逓減を抑制していきます。

## 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入について、授業料等収入は講座等への参加者を増加させるため財団ホームページや広報印刷物について参加意欲を高める取組を行ったり、施設使用料収入は古くなったカーテンの取り替えや会議室の椅子のリニューアルを行うなど、貸館における快適性を向上させることで、利用率があがり、収入を増やすことができました。</li> <li>・支出について、建物総合管理委託の委託料が年々高騰していることを踏まえ、委託仕様内容の見直しを行い、市民サービスを低下させることなく委託料を低減させる取組を行いました。また、財団職員に対し、経費節減に向けた取組の推進を呼びかけ、照明の消灯や冷暖房運転の抑制等により、施設における電気・ガスの使用量を前年度実績よりも抑えることができました。</li> </ul>
---------------	--

## 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常収支比率の推移	目標値		98.7	99.2	99.7	100.2	%
	説明 事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合	実績値	100.2	99.6				
2	正味財産の推移	目標値		283,704	281,132	280,124	280,717	千円
	説明 出捐者から受け入れた指定正味財産と、本業から得られた過年度経常収支差額の合計	実績値	295,312	293,864				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

- ・市民ニーズを捉えた事業展開をすることで事業参加者数を増やす取組や貸館における快適性を向上させる取組を行うことにより、授業料等収入や施設使用料収入を増加させることができ、結果として経常収益を増やすことができました。
- ・電気、ガス料金の高騰により光熱水料費は増加したものの、建物総合管理業務委託をサービスを低下させない範囲で委託仕様内容を見直すことで、委託料を減らし、結果として経常費用の増加を抑制することができました。
- ・経常収益の増加及び経常費用の減少により、経常収支比率の推移及び正味財産の推移の目標値を達成することができました。

本市  
による評価

達成状況

#### 区分

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

A

#### 区分選択の理由

授業料等収入や施設使用料収入などの経常収益の増、また、建物総合管理業務委託の委託見直しによる経常費用の増加抑制により、結果として、成果指標である「経常収支比率の推移」及び「正味財産の推移」の目標値を達成したため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅰ

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

### 3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	人材育成研修の実施
<b>計画(Plan)</b>	
現状	職員等の意欲や能力向上を目的に研修を実施し、人材育成を行っています。
行動計画	社会的ニーズや時節に応じた研修など今必要な研修を実施し、人材育成研修の充実を図ります。
具体的な取組内容	業務理解、業務推進、情報スキル等の職員研修を実施する機会を確保し、企画力、業務執行力、専門性の向上を図ることを目的に年間7回の研修会を実施し、人材育成の充実に努めます。

### 実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 業務遂行のスキルや意識を高めるため、令和5(2023)年10月から始まるインボイス制度切替に伴う研修や適切な事務処理を執行するための研修など喫緊の課題解決のための研修を年9回実施し、職員の人材育成に努めました。
---------------	--

### 評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	研修の参加人数	目標値		92	93	94	95	人
	説明 研修の参加人数により測ります。	実績値	88	123				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
研修の参加人数については、インボイス制度や適切な事務処理を執行するための研修などを開催したことにより、実務上必要な研修を多くの職員に受講させることができました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 実務に直結したインボイス制度や適切な事務処理を執行するための事務研修等を実施することで、成果指標である「研修の参加人数」の目標値を上回ったため。

### 改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 引き続き、計画的な研修や、社会的ニーズ・時節に応じた研修など今必要な研修を実施し、職員の資質・能力向上に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

## 業務・組織に関する取組②(令和4(2022)年度)

項目名	事業・業務の点検
-----	----------

### 計 画 (Plan)

現状	毎週1回開催する運営調整会議及び毎月1回開催する経営委員会で、各事業・業務の成果と課題の検証を行っています。会議の中では、課題に対して実際のデータを参照しながら課題解決に向け、話し合いを行っています。
行動計画	毎週1回開催する運営調整会議及び毎月1回開催する経営委員会で各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解決や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。
具体的な取組内容	第2週を除く毎週水曜日に開催する運営調整会議及び毎月第2水曜日に開催する経営委員会で、各事業・業務の点検評価を行うことで課題や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。また、点検結果については理事会に報告します。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営調整会議や経営委員会において、各事業の実施状況や運営体制などの財団における喫緊の課題について、随時協議を行いました。</li> <li>経営改善計画の遂行状況をはじめ、貸館や各種事業の進捗状況、高騰する光熱水料費への対応、施設使用料収入の見込など、施設運営を多角的に捉えるとともに、様々な案件を継続的にとり上げ、経営改善に向けた検討を行いました。</li> </ul>
---------------	--

### 評 価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	実施回数	目標値	/	49	49	49	49	回
	説明 実施回数により測ります。	実績値	46	48				
指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						

#### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

毎週水曜日を開催日としているものの、休日に重なった場合に振替を行う調整ができなかったことから、実施回数は目標値を下回りましたが、年間を通して課題解決に向けた検討を進めることができました。上半期は、施設利用促進に向けた検討を行い、施設4箇所に広報掲示板を設置し、広報の充実に努めるとともに、書道や絵画、手作り生活雑貨などのグループや個人の方の作品を展示するためのウエルカムギャラリーを設置しました。また、文化財団と連携して、年間を通して4階の壁面を利用したバラアートの展示を行いました。下半期については、事業計画の立案、予算編成、収支改善に向けた検討を行い、令和5(2023)年度の計画に反映しました。



達成状況		区分	区分選択の理由
本市による評価	達成状況	C	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った  成果指標である「実施回数」は48回となり、目標値を達成することはできなかったものの、各事業等の実施状況について、適宜情報共有や検討を行い、その上で事業の工夫につなげているため。

### 改 善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業・業務の点検については、課題の共有や検討、施策の推進などについて、年間通して協議を図る体制を継続的に図っていきます。</li> <li>令和5(2023)年度以降、中止した場合は振替を行ったり、緊急に協議する案件がある場合は臨時に実施するなど定期的な点検の実施に努めます。</li> </ul>



●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	313,619	316,673			
	経常費用(事業費)	229,227	233,332			
	経常費用(管理費)	83,849	84,518			
	うち減価償却費	89	89			
	当期経常増減額	543	△1,178			
	経常外収益					
	経常外費用		270			
	税引前当期一般正味財産増減額	543	△1,448			
	当期一般正味財産増減額	543	△1,448			
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高		295,312	293,864			
貸借対照表	総資産	308,359	307,750			
	流動資産	33,179	34,716			
	固定資産	275,180	273,034			
	総負債	13,047	13,886			
	流動負債	13,047	13,886			
	固定負債					
	正味財産	295,312	293,864			
指定正味財産	203,000	203,000				
一般正味財産	92,312	90,864				
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	事業収益	48,106	53,929			
経常費用	人件費(事業費+管理費)	73,264	74,917			
総資産	特定資産	73,864	71,545			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)					
本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		141,811	141,812			
負担金						
委託料		10,795	10,044			
指定管理料		105,165	105,165			
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		200,000	200,000			
(市出捐率)		100.0%	100.0%			
財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		254.3%	250.0%			
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)						
経常収支比率(経常収益/経常費用)		100.2%	99.6%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		95.8%	95.5%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用		82.3%	80.9%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益		82.2%	81.2%			

法人コメント

本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
令和4(2022)年度については、収益を圧迫してきたコロナ禍の影響から徐々に回復し、授業料等収入についてはコロナ前の令和元(2019)年度の水準にまで回復することができました。また、施設使用料収入についてはコロナ前の水準を超えることができ、結果として経常収益が令和3(2021)年度を上回りました。特に、施設使用料収入については、建物総合管理委託の仕様を見直し、貸室利用日数を増やしたことや、施設・設備の改修により利用者にとって使いやすしい施設整備に努めたことが施設使用料収入の増加に繋がったものと捉えています。 一方、支出については経費節減の取組を進め、物品等の購入費や電気・ガスの使用量を減らすことができました。しかしながら、電気・ガス料金については想定以上の高騰が続き、光熱水料費の支出が増加したことで、収支均衡には至りませんでした。	生涯学習財団が果たすべき役割に留意しながら、収支改善に向けた取組を行います。 各種事業については、企画や運営、広報を工夫するとともに、比較的低利用の低い夜間の時間帯における施設の利用促進に向けて講座を新規開設するなどの取組を検討します。施設提供については、今後とも快適な施設設備を整備するなど、受講者・利用者の一層の確保に努めます。 また、財団全体で経費節減の取組を進め、物品等の購入先の精査や、電気・ガス・水道量の使用抑制、委託に係る仕様内容の見直し、委託の業者選定の精査などにより、収支均衡に向けた取組を進めます。	令和4(2022)年度については未だコロナ禍の影響もありませんが、企画等の工夫により概ね目標値を達成することができました。 自主財源の確保とともに、管理費の縮減に努め、「収支改善」について目標値を上回ったことは評価できます。引き続き収入の増加と管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立した経営を目指す必要があります。 今後も公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、公益事業の充実を図るとともに利用率の低い夜間の時間帯における利用促進により受講者・利用者の一層の確保に努めるなど、収益事業による自主財源の確保や事務経費などの節減を通じて、各事業の収支改善に取り組み、安定的な経営基盤を確保した運営を期待します。

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2	0	2	7	0	1
職員	4	0	4	24	0	7

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由
- ・今後の方向性